

大東市が推進している

小中一貫教育について

「小中一貫教育」とは

義務教育期間を、小学校6年間と中学校3年間の別々で考えるのではなく、9年間を一体の教育課程としてとらえ、系統的な教育を行うことをいいます。

「小中一貫教育」のねらい（メリット）

- ・小学校と中学校の教職員が、9年間を通して育むべき子どもの姿（めざす子ども像）を共有して指導する。
- ・9年間を見通して計画的な学習指導や生活指導・生徒指導を行う。
- ・持ち物や授業の流れ、生活習慣に関するルールを小中学校間で統一し、共通した規律を徹底することで、小学校から中学校に進学した際の学校生活のギャップが緩和される。
など

大東市の小中学校では、平成29年度より一部の学校において小中一貫教育をモデル校として実施し、その実践を市内に拡大していきました。そして令和4年度からは市内8中学校区で小中一貫教育が行われています。すべての中学校区において『9年間でめざす子ども像』が設定され、取組みや指導がされています。

市内の中学校区における「9年間でめざす子ども像」の一例

- ・自分の未来を考え、実現に向けて行動できる子ども
- ・自らの将来の姿を描き、意欲をもって学び続ける子ども

9年間で系統的な指導を行うために、小学校と中学校の教職員が合同の研修会を開いたり、相互に授業参観を行ったりするなどの取組みがされています。

また、小学生が中学校に通学して授業を受ける「アクセスプラン」を定期的に実施したり、小学生と中学生が合同であいさつ運動をしたり遠足に行ったりするなど、それぞれの校区でさまざまな取組みがされています。

【今年度のアクセスプランのようす】





大東市初の

義務教育学校

開校に向けて準備を進めています



義務教育学校って何？

平成28年に制度化された、小学校6年間と中学校3年間の義務教育9年間を一貫して行う、新しい形態の学校のことをいいます。小学校と中学校の区別がなく、9年間を通じた学年の編成と系統的な教育課程が組されます。子どもたちの発達段階に合わせた柔軟なカリキュラムを編成し、学力向上や9学年の円滑な連携を図ることが期待されます。令和7年度時点で大阪府内に13校、全国におよそ260校の義務教育学校があります。5年前と比べその数は倍増し、今後も増加傾向にあります。

現在、令和12年度に北条小学校と北条中学校が一つになり、新しい義務教育学校として、現在の北条中学校の場所に開校するために準備をすすめています。

北条小学校と北条中学校では平成29年度より小中一貫教育を実践し、9年間のカリキュラムが編成されたり、アクセスプランなど小中学校での取り組みも活発に行われたりしています。義務教育学校となることで、さらに9年間の一貫した教育が推進され、小中一貫教育における市内のリーディングモデル校として他校にも実践を広げていくことを考えています。



学校名を募集します！

北条中学校区に開校予定の義務教育学校はこれまで『(仮称)大東市立ほうじょう学園』としてきましたが、このたび正式名を決定するため学校名を募集しています。

教育企画室ホームページにて応募資格や選定のポイントを掲載していますので、ご確認いただき、ぜひご応募ください。

【応募方法】下の1・2のいずれかでご応募ください。(2月27日(金)締切)

1. 電子申請 右の二次元コードまたは教育企画室ホームページより応募



2. 紙で応募 応募用紙・応募箱設置場所

○北条人権文化センター 受付

○いいもりぶらざ 受付

○教育企画室 窓口(市民会館5階)

電子申請
応募フォーム



教育企画室 HP



(仮称)大東市立ほうじょう
学園の設置に関する基本構想



学校名募集 案内